

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（6月）

令和6年6月14日
三八地域県民局地域農林水産部
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稲

(1) 作業進ちょく状況

管内の田植え最盛期は5月20日で平年より2日早かった。

| | 田植え | | |
|---------------|------|------|-----|
| | 本年 | 平年 | 平年差 |
| 始 め（進ちょく率5%） | 5/15 | 5/16 | 早1日 |
| 最盛期（進ちょく率50%） | 5/20 | 5/22 | 早2日 |
| 終わり（進ちょく率95%） | 5/30 | 5/29 | 遅1日 |

(2) 本田の生育状況

5月下旬～6月1半旬の低温により一部で代枯れが見られるものの、全体的に生育は順調である。

(3) 今後の対策・指導等

- ①天候に合わせて適正な水管理をする。
(浅水管理による分けつ促進、高温時に適宜水の入れ換え、適期の中干し)
- ②除草剤を適期かつ適正に散布する。
(後発のヒエ及び広葉・多年生雑草の対策)
- ③農作業履歴の記帳をする。
(特に使用農薬の記録)

2 小麦

(1) 生育の状況

生育観測ほの出穂期は5月13日で平年より5日早く、開花期は5月20日で平年より6日早かった。

6月10日の調査では、稈長は79.2cmで平年より長く、穂長は7.9cmで平年より短い。㎡当たり穂数は504本/㎡で平年より多い。

生育観測ほの出穂後の積算温度による予想刈取適期（830～950℃）は、7月2日～7月8日の見込みである（6月10日現在）。

表1 生育観測ほ生育状況（6月10日調査）

調査地：八戸市 市川

| 年次 | は種日 | 稈長(cm) | 穂長(cm) | 穂数 (本/m ²) | 出穂期 | 開花期 |
|----|--------|--------|--------|---------------------------|-------|-------|
| 本年 | 10月13日 | 79.2 | 7.9 | 504 | 5月13日 | 5月20日 |
| 平年 | 9月27日 | 76.0 | 8.3 | 442 | 5月18日 | 5月26日 |
| 前年 | 10月2日 | 71.8 | 7.3 | 383 | 5月14日 | 5月22日 |

※平年は、H28～R5年の平均値。稈長、穂長、穂数の平年値は収穫時の調査結果をもとにした参考値。

(2) 今後の対策・指導等

品質が低下しないよう適期に刈取りを行う。

3 大豆

(1) 作業進ちょく状況

①八戸市 市川地区大豆転作営農組合

播種は5月下旬から行われ、6月上旬に終了した。

②五戸町 農事組合法人くらいし

播種は6月5日から行われ、6月10日頃終了の見込みである。

II 野菜

1 ながいも

(1) 生育、作業の状況

生育観測ほの植付けは、平年より15日遅い5月20日に行われた。6月10日現在、萌芽していない状況となっている。

一般ほ場の植え付け作業は、最盛期を迎えている。

(2) 今後の対策・指導等

①ほ場周辺の明きょなど排水対策を実施する

②支柱立て・ネット張り作業を順次行う。

③種いもほ場を中心に、アブラムシ類の防除を徹底する。

2 ねぎ

(1) 生育の状況

生育観測ほの生育は、草丈77.4cm(平年比109%)、茎径16.1mm(平年比96%)となっている。

病害虫はさび病、ハモグリバエの産卵痕や食害がみられるが発生量は少ない。

一般ほ場の生育は概ね順調である。

表2 県生観ほ生育状況（6月10日現在）

調査地：八戸市是川

| 年 度 | 定 植 期 | | | | | 6月10日現在 (本年調査日：6月10日) | |
|--------------|-------|--------------|----------|-------------|----------|--------------------------|-------------|
| | 品 種 名 | は種期 (月日) | 育苗 状況 | 定植期 (月日) | 活着 状況 | 草丈 (cm) | 茎径 (mm) |
| 本 年 (平年比) | 夏扇パワー | 12/25 遅5日 | 良 | 4/4 遅11日 | 良 | 77.4 109% | 16.1 96% |
| 平 年 | 夏扇パワー | 12/20 | — | 3/24 | — | 70.7 | 16.7 |
| 前 年 | 夏扇パワー | 11/26 | 良 | 3/19 | 良 | 60.9 | 16.0 |

※ 平年（H26～R5）

(2) 今後の対策・指導等

- ①今後、べと病や葉枯病などの病害、ネギアザミウマなどの害虫が発生しやすい時期を迎えるので、防除を徹底する。
- ②培土は、太さを確認しながら、高温の時間帯を避け、早朝に実施する。

3 にんにく

(1) 生育の状況

6月10日現在の県及び地区生育観測ほの生育は、地上部の生育は概ね平年並みから下回る状況であり、地下部は、平年を上回っているが、尻止まりはほ場によるバラツキが見られる。

病害は、春腐病、さび病、黄斑病、葉枯病の発生がみられており、黄斑病・葉枯病が拡大しているほ場もある。また、一般ほ場の一部では黒腐菌核病の発生がみられている。虫害は、ネギコガによる食害がみられるほ場がある。

りん片分化期後の積算気温による予測では、収穫時期は、平年より7～10日程度早まると見込まれる。

(2) 今後の対策・指導等

- ①病害虫の発生が認められるほ場では、収穫前日数、総使用回数に注意しながら防除薬剤を選択し、早期の枯れ上りを防止するため防除を徹底する。
- ②ほ場ごとに必ず試し掘りを行い、適期に収穫する。
- ③収穫前に乾燥設備を点検するとともに、温度、通風、換気の3つのポイントをおさえて、しっかりと乾燥させてから、種子用と販売用に分けて保管する。

表4 生育観測ほ調査結果（6月10日：20株調査、球重・球径は4株調査）

| 調査地点 | マルチ | 年次 | 品種系統 | 植付日 | りん片 分化期 | 草丈 | 生葉数 | 莖径 | 球径 | 球重 |
|-------------|--------|-----|--------|-------|------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|
| | | | | | | (cm) | (枚) | (mm) | (mm) | (g) |
| 五戸 (上兎内) | グリーン | 本年 | 白玉王 | 10月3日 | 4月14日 | 79.4 | 7.9 | 20.5 | 66.0 | 97.5 |
| | — | 平年比 | | — | 1日早い | 97% | 95% | 101% | 103% | 94% |
| | — | 平年 | | 9月29日 | 4月15日 | 81.7 | 8.3 | 20.2 | 63.9 | 104.1 |
| | グリーン | 前年 | 白玉王 | 10月1日 | 4月9日 | 84.1 | 7.9 | 20.9 | 68.7 | 117.5 |
| 旧倉石 (又重) | グリーン | 本年 | 在来種 | 10月2日 | 4月15日 | 81.7 | 7.2 | 16.8 | 64.9 | 100.0 |
| | — | 平年比 | | — | 平年並 | 93% | 87% | 89% | 105% | 106% |
| | — | 平年 | | 9月30日 | 4月15日 | 88.0 | 8.3 | 18.8 | 61.7 | 94.7 |
| | グリーン | 前年 | 在来種 | 9月26日 | 4月10日 | 84.9 | 6.6 | 18.1 | 63.4 | 106.0 |
| 新郷 (扇ノ沢) | グリーン無穴 | 本年 | 福地ホワイト | 10月5日 | 4月15日 | 77.7 | 7.6 | 18.3 | 64.9 | 98.0 |
| | — | 平年比 | | — | 2日早い | 96% | 93% | 96% | 108% | 110% |
| | — | 平年 | | 10月3日 | 4月17日 | 80.8 | 8.2 | 19.0 | 59.9 | 89.2 |
| | グリーン無穴 | 前年 | 在来種 | 10月2日 | 4月11日 | 86.7 | 8.1 | 21.0 | 63.7 | 99.5 |
| 田子 (日ノ沢) | グリーン | 本年 | 白玉王 | 9月30日 | 4月14日 | 85.3 | 8.1 | 18.6 | 67.2 | 117.9 |
| | — | 平年比 | | — | 3日早い | 105% | 100% | 100% | 110% | 131% |
| | — | 平年 | | 10月6日 | 4月17日 | 81.0 | 8.1 | 18.6 | 61.0 | 89.7 |
| | グリーン | 前年 | 白玉王 | 10月2日 | 4月10日 | 84.7 | 7.2 | 16.8 | 62.8 | 99.6 |

注) 平年値について

五戸：H26年～R5年までの過去10年間の平均値（参考値：R3から調査地点変更）

旧倉石：H26年～R5年までの過去10年間の平均値

新郷：H26年～R5年までの過去10年間の平均値

田子：H26年～R5年までの過去10年間の平均値（黒マルチのR2年は除く）

表5 生育観測ほ病害発生程度調査結果（6月10日）

| 場所 | 春腐病 | さび病 | 葉枯・ 黄斑病 | 欠株 |
|-----|-----|-----|------------|----|
| 五戸 | 1% | 6% | 1% | 2% |
| 旧倉石 | 0% | 0% | 0% | 2% |
| 新郷 | 0% | 4% | 24% | 0% |
| 田子 | 0% | 0% | 1% | 1% |

4 トマト

生育観測ほの定植期は5月6日で、平年より8日早かった。定植前の気温が高めに経過し、地温が確保できたため、活着は良好であった。

第1花房の着果節位は7.1節で、過去5か年平均（7.8節）と同等であった。1段目の開花期は、5月21日で、平年より6日早く、現在は3段目の開花中である。病虫害の発生は特にみられない。

一般ほ場では、5月第5～第6半旬は平均気温が平年を下回ったものの、適切な保温対策により、定植後の活着及び初期生育は概ね良好となっている。一部のほ場でトマトキバガの被害がみられている。

表6 県生観ほ生育状況

調査地：三戸町斗内

| 年 度 | 品 種 名 | 定植期 (月日) | 育苗・活着 | 1 段花房 | |
|--------------|----------------|--------------|-------|----------------|-----------|
| | | | | 開花期(月日) | 着果数(個) |
| 本 年 (平年比) | りんか409 (自根) | 5/6 (8日早) | 良好 | 5/21 (6日早い) | — (—%) |
| 平 年 | りんか409 | 5/14 | | 5/27 | 3.9 |
| 前 年 | りんか409 | 5/10 | 良好 | 5/17 | 4.3 |

(2) 今後の対策・指導等

- ①樹勢や天候に応じたかん水や、追肥を実施する。
- ②高温や湿度が高い時は積極的に換気する。
- ③定期的な病害虫防除を実施する。